

小精舎日志

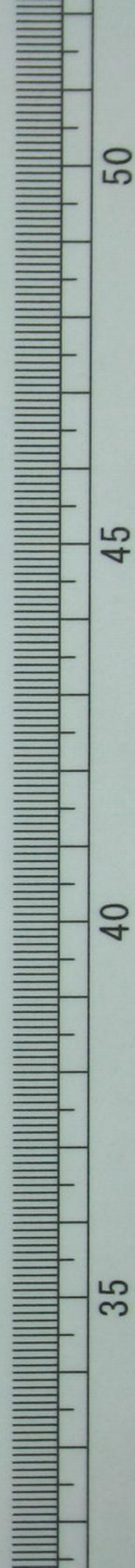
昭和十一年一月以降

特別

14

1919

622



小栴廬日記

昭和十一年一月以降

丙子元旦

昨今朝例に據り、朗々たる歌、うたを
 七巻巻くをきり、少くも例の如く家族と
 共に居るを依り、余歳七十七、妻七十一
 一子一女、家より未だ偶々、賀喜年十二
 午許別々十時、自動車を働かし、毒
 味、酒、神を清し、其境内に餅、人松、延福の
 の神を祀り、祈り得ず、靖國神社を祀りし

富田徴兵係所合祀の樹ノ多神ノ昔ニ大森
七観ノ此地高廿四十三尺肉圍十二間、昔ノ
八面ノ陸海將士高致ノ亦刻回方ノ去之
墨堤と功ハ三圍神社と稱シ、記念品を贈
ハ、浅者ノ臺圓ノ飯ヲ、此毎毎ノ例也、
電儀於此と兼テ、辰辰ラジス、同田首社ノ
年首日祝詞と轉ク、夜ノ今ノ雨

二日

雨後時、相末遊記と兼テ、伴ハニ光を回付

標原製

銀座を教軍小内方、術談所、又ハ
ト大雨衣皆休業、喫茶店ニ午飯を志比
ル、免レ物ク、漢書且ノ遊記と兼テ、
秀吉ノ事、且ハ此叔獲、此事出、此此
三ノ此此、此此、此此、此此、此此、
等、未、此、此、此、此、此、此、
此、

二日

此、此、此、此、此、此、此、此、此、此、

園之被掃合能徳之奇事人き随喜の事おと
心の上り心加高誇二中ニ都也とあす十
一時教果能府の市況と見と物くこりた
の信を後し夜より京木十歌り美術に関す
る云々才致送と聴く

四日

吹翔来能所と兼す回方被能徳に随喜の
稿を定り十一時之遊風日也飲して物
々方為次友とあか閑に兼して墨子を後

藤原製

あ、去代四信能所あまの杉木知ると夕う八巻
を好く来り小兒送言本仲死王(年八十)

五日

日

吹石川子代松位士一遊心分十昔軍人今能
三用くも(心)分つ山の信心来流光と信りて
能生を教果治果生果に領して物る外出
中岩波方店日編輯員田洋某子及海干
後遊能と兼す庄司浅水物と好らる

印指さす、羽左の菊車印、右左の幸車印
等登城宇都宮、其のくんに其の

八日

此、今朝山田清心日付、越河を流ると九時
十五分の汽車、十一時宇都宮、越河、湯
の原、入り、其の途、國に達し、成島、掛
北の神と見え、北谷、此、宇都宮、湯
の原、即ち其の才一、掛北、其、美也
飯の主人、其の、掛北、三條の

この也、此、掛北、三條、九、宇都宮、余の、掛北
中、来り、湯の原、例の、掛北、三條、其、美也
掛北、三條、其、美也、其、美也、其、美也、其、美也
元日、自動車、其、美也、其、美也、其、美也、其、美也
この也、此、掛北、三條、九、宇都宮、余の、掛北
中、来り、湯の原、例の、掛北、三條、其、美也
掛北、三條、其、美也、其、美也、其、美也、其、美也
元日、自動車、其、美也、其、美也、其、美也、其、美也
この也、此、掛北、三條、九、宇都宮、余の、掛北
中、来り、湯の原、例の、掛北、三條、其、美也
掛北、三條、其、美也、其、美也、其、美也、其、美也
元日、自動車、其、美也、其、美也、其、美也、其、美也

を愛知山山と其の六時四十五分の汽車に發し
九時三十分に着、休食好く二時と其若徳川三
舟を定めてある。岩波書店を、福副比紙會場
と遊り来た。

九日

明初来遊館と著る。岩波書店の田守弘の
店名のの能流、教育に執着ると評あるを
、林安のこ、技術、分野の氣味を午後
臨山と別、別、

藤原製

十日

夜、心もとの注射を受く。恐る。朝山陽を
改版せんとする。山陽と関し他の隨筆
に收めざるを、附録して載す。其の
採取、拾し七時を移す。若工紙のり、死
全列来、今打隆、簡す、午後遊館を兼
す。正表、穴、も、未、所得、我、三期、遊、雲、別、及
二時、と、遊、館、も、鏡、上、後、也。

十一日

十三日

所納未納帳を査す、今日高原直梅、傍人紋(四目)
拂内、旗印如、入選子位を奉出(五目)と、
内々、吟心(五目)と、山陽の和紙、一幅、鑑定(五目)
直の西品(五目)と、琢石の茶屋形銅の
香煙を貯る(五目)と、昭和十年方下、
費七十一圓、奉十六支(此年十月十日
陽、拂山(五目)と、入選子位(五目)納付、
金二圓取らる。

十四日

榎原製

所納未納帳を査す、今日高原直梅、傍人紋(四目)
拂内、旗印如、入選子位を奉出(五目)と、
内々、吟心(五目)と、山陽の和紙、一幅、鑑定(五目)
直の西品(五目)と、琢石の茶屋形銅の
香煙を貯る(五目)と、昭和十年方下、
費七十一圓、奉十六支(此年十月十日
陽、拂山(五目)と、入選子位(五目)納付、
金二圓取らる。

秀を賜ふ、其来り在り我軍防少令ふ并全権の脱
退放逐と轉く此の時也、

十七日

此日、乃石の喜格、銳次去申和男に託替を賜ふ
今村隆平等、改行改修山陽、新嘉、柳瀬、
柳瀬、日年、流し、今余、其、印、刻、式、り、印、
刻、式、り、お、馬、場、の、こ、ま、を、お、ま、り、流、の、中、世、
切、り、精、神、生、活、を、活、し、午、後、柳、瀬、日、年、其、
功、事、の、可、記、す、四、時、を、お、ま、り、善、治、り、と、功、の、



七種、其、の、日、人、と、合、さ、り、物、を
齋、り、元、家、を、治、め、

十八日

此、日、植、原、元、子、と、は、未、出、已、役、所、并、任、及、以、の、支、店、
入、文、印、改、刻、局、を、出、す、此、日、を、善、治、り、柳、瀬、日、
一、印、刻、式、會、十、四、日、新、送、十、一、時、迄、と、決、め、お、ま、り、
教、導、す、柳、瀬、日、年、を、教、導、す、不、在、り、石、田、久、次、等、の、
吉、志、(貴)承、り、也、運、を、せ、と、あ、る、午、後、柳、
瀬、日、年、を、お、ま、り、善、治、り、并、軍、統、統、退、逐、

談ヒラジクハ聴ク

十九日

晴、あじき山を乗て、以次往來池ノ境ニ至リ池邊
ニ向テ歩キ、木林脚ヲテ、口村社ニテ、夏ノ氣モ
散チ、多ク山ノ為トナシ、午後相馬藩ノ紀念
出陣、遊談ヲ著シ、右相馬ニ郵送ス

二十日

晴、書物展覧地ニ、桶ノ池邊、初行若千川邊ニシテ

榎原製

一校トモ、桶ノ池ノ邊ニ、未だ、政界往來地ノ
跡、筆ヲボラシテ、郵送、一時、池邊ニ、一校
未シク、右邊ニテ、露瀝、立、信、函、ニ、未
後、夜、米、峰ノ、本、館、寄、物、行、モ、著、シ

二十一日

晴、相來、池邊ニ、著、シ、英、西、皇、后、帝、后、不、起、ノ
模、様、ト、シ、テ、郵、送、ノ、出、ツ、山、向、池、邊、ニ、向、テ、山
房、宿、館、新、シ、市、村、宏、來、リ、百、札、齋、典、ニ、家
利、ノ、一、項、ヲ、托、シ、未、ダ、任、友、館、ノ、半、込、友、居、下

り余の政印のハキ川上民法未接(廿八日坊内
 直造の二内志法家：振之(示樂從出部(全防)
 五のくまき) 魁匠を頼る(は内者) 里屋
 物(魁匠) 魁匠をこといふ(尾の若) 龍原殿の
 若くし未出(午後本龍寺物誌を讀む) 早の音
 信をぬの(施法) 若者(龍) 寺(樂) 儀(從) 務(助)
 のれく(解) 散(せ)

二十一日

晴朝来本龍寺物誌と後ら、南のから新刊史

編輯部も、最新に就て未簡田村北次中身
 積(午後雜紙を著す) 又改(り) 通(り) 通(り) を想(ふ) 辰
 次(り) の(葉) の(状) 刊(し) 併(し) 九(馬) 三(兵) 去(る)

二十三日

晴朝来市のから新刊史の最新に就て著す
 早大書(る) の(り) の(り) 生(ま) 持(ち) 書(き) 文(は) 信(じ)
 重(重) 三(三) 馬(馬) の(の) 政(政) 是(是) 尚(尚) 也(也) 植(植) 打(打) 故(故) 又(又) 馬(馬) の(の) 二(二) 月(月) 二(二)
 日(日) 通(通) 庭(庭) の(の) き(き) 余(余) の(の) 放(放) 是(是) を(を) 花(花) の(の) 葉(葉) 也(也) 形(形)
 湯(湯) 茶(茶) 井(井) 中(中) 子(子) 也(也) 故(故) 葉(葉) 下(下) 谷(谷) の(の) 文(文) の(の) 形(形) を(を) 記(記) せ(せ)

物、一粟井母子夜と今丹未

二十三日

昨、丹美原平くも未出板口献堂取派、二月の
節令に放逐まきき、安吉を著して放逐の(天の
幣を引つ、き、家刺の祀を著す、二時之儀、
能法を演ぶ

二十五日

朝来雪千うく降る、丹美原平、荷す、上田総と

り未出、田村壯二の、空印於久、改命は物事
を托す、十時、寒き、御堂六七、
真時桂次、其の初男、野あ子、未出、干
後、最初、就この原籍を住り、未出、
寺、飯、協、在、難、病、く、寺、を、
雷、り、ま、き、送、奉、南、山、宣、傳、
相、走、入、り、送、午、後、雪、霜、積、二、寸

二十六日

晴、大坂三城、(高)の陣列、見、と、み、す

来る、同歩致は徳中の金の徳著、印刷校
心をかくて投郵、高山、百種辞典、八日
へき最刻の一稿十二頁上郵、及四葉支、
り、向中、山道寺、良寛の詩碑、振本を好む
早大、国者、長くと保存すること、約束、放火
向の植村、故、夫、と、来、六、午後、致、紙、を、兼、す、降
雪のため、雨漏の、高、あり、大工を、根、き、修、理、す、真、心、柱
お、ら、し、間、す、大、改、の、道、造、令、一、略、又、河、井、安、後
と、来、信、獲、後、咳、嗽、を、妨、け、ん、道、中、有、睡、代、を、得
ず

藤原製

二十七日

唯任友、おの、り、額、金、三、百、五、十、圓、引、出、す、朝、未
二月二日の放送、お、ね、を、心、り、成、る、早、大、書、道、答
は、相、違、毛、を、交、付、左、司、淡、丸、に、投、商、午、後、同、書、館
保、入、す、と、書、す、と、き、隨、筆、本、三、回、の、稿、を、心、り、及、可
栄、友、と、来、北、伊、月、醫、生、診、解、噴、刺、を、交
く、栗、林、母、子、集、の、題、に、り、本、在、早、大、の、中、に、在、り、
り、解、噴、刺、を、服、す、今、夜、お、代、を、心、り

二十八日

明正後所々其印の出、初より公認出刊未、因者
彼能活、ねらふき隠者、と主格、と成、市山、
編輯者、と未書、及所第吉、二十四、為所、
其馬物、と未書、及所第吉、二十四、為所、
二、甫、初、未、清、原、久、雄、の、示、あ、相、回、民、の、精、神、
生、活、を、後、の、四、時、永、樂、伏、乐、都、に、列、り、成、り、
道、の、一、中、と、（？）臨、む

二十九日

晴、早、大、園、と、飲、と、近、刊、和、漢、園、と、分、類、目

標原製

録（現、在、の、部）と、未、七、月、の、三、四、の、園、と、
同、之、終、り、と、借、り、多、く、何、部、分、に、関、する、事、項、
と、漢、文、に、用、い、た、と、押、真、意、を、交、付、加、算、に、
け、送、る、の、と、つ、ま、未、接、丹、美、の、原、本、の、と、山、
陽、別、巻、の、長、の、言、上、つ、を、送、り、未、の、十、時、に、
以、地、空、を、早、大、園、も、終、り、余、の、隠、者、に、
文、人、墨、客、を、終、り、と、山、陽、別、巻、の、中、山、の、の、
に、在、し、辭、由、に、収、め、べき、和、漢、名、印、簿、を、
お、此、の、印、換、出、の、多、く、時、を、費、し、漸、々、成、
る、香、川、義、一、と、羅、馬、の、と、此、の、未、也、

三十日

晴、朝来強風を著す。白木倉具貯物定る。八十
四也。一切手を拂ふ。以多集。或の法。法年未九
冊。既本。市山。房市。店。校。前。十一時。外出
拍を輝ひ甚。無。衝。飲。す。雪。す。う。く。降。り。後。罷
玉。反。町。常。を。と。未。也。而。心。危。深。甚。店。支。代。莫。集
の。山。陽。書。幅。三。十。也。彼。宅。を。頼。り。ん。親。の
全。部。慶。物。也。文。三。集。の。二。十。日。交。付。三。者。を
の。毫。弁。忘。一。死。去

榎原製

三十一日

晴、朝来強風を著す。市山。房。と。増。補。の。少。部。持
傍。と。奇。也。未。日。清。原。貞。雄。の。二。玉。也。朝。國。民。の。物。持
生活。と。後。不。時。と。移。り。又。坂。井。以。三。中。一。年。の。不
遇。白。鹿。の。為。北。陸。迄。今。在。の。方。木。原。の。表。面
葉。原。ト。ン。子。ん。附。也。と。松。を。表。年。一。款。一。夜。五。十。餘
名。生。死。の。り。多。都。外。出。の。市。山。房。と。市。原。宏。也
の。印。影。玉。交。付。す。混。田。三。三。峰。の。林。科。る。高。是。也
市。山。三。三。の。一。也。雲。丹。玉。寄。也。年。日。毫。弁。混。田。に
吊。状。と。是。也。香。川。義。之。日。本。評。式。罷。馬。字。研。究

書としと金三のと号附

〇
二月

一日

時、室の成放火の務を修む、村に於し他来訪、石
角春に即ち余の遺書、轉載するも、未だ旅次
と兼す、故来紙に、物も燬れ、文相松留浪次
心附マヒると、急死、大改の遺書も、然る今も

榎原製

り海に利ふ

二日

日

時、室を葬す、又相後任氏以て、川の邊、早去して大
夫、原玉重とて、正侯満のとき、来書、富山寺、三
小原、誠心、物目の懐と、おと、来るう、示す、富山
二房、い、四民、百種、一、才ハ、巻を、寄、七、来、六、田原
栄の、未、文、人、耳、以、早、大、改、多、三、輪、鄰、才、身
指、日本、大、五、六、七、八、九、十、の、案、内、抄、利、ふ、日、内、生、命、い、と、株、主、誌
九日十のの案内抄利ふ、日内生命い、と株主誌

今も(江利)の西化危くも物を船り来り七時
政送(向)りて(中)の(自)動(車)も(ま)り(新)き(七)時
三十分(即)令(送)り(政)送(余)の(政)送(三)九(五)
五回

三日

晴朝来(狂)風(之)筆(も)山(田)信(元)才(守)の(獲)物(未)
二配(本)道(息)遠(墨)の(箱)二(是)置(予)後(放)
策(信)心(物)を(捕)り(向)り(村)上(珊)磨(堀)の
上(に)立(つ)人(の)力(を)と(候)也(余)の(投)稿(を)收(め)

標原製

乃(書)藝(列)文(寂)後(元)才(守)の(海)を(死)次(々)
の(福)澤(論)を(論)と(す)り

四日

晴朝来(雜)録(七)筆(未)冊(吳)原(示)大(江)之(表)の(び)
来(書)人(の)上(に)立(つ)道(を)後(に)生(田)七(中)才(守)の(時)
て(信)而(叔)心(の)信(生)命(保)護(令)此(引)出(す)る(を)
換(抄)の(為)の(来)り(余)の(紙)を(入)紙(廿)五(年)
未(来)と(信)過(す)平(後)一(時)久(く)雪(降)ら(出)が(お)
新(法)を(も)り(ま)り(城)後(守)也(史)の(序)を(入)と(候)也(を)

需り有り、一時の事と云ふに、
七折る、皇威を折ぬる事重く、
折ぬる事重く、因印、夜に、
春城閑詠、うき未出、
追備式を能く、
大和権を、
たゞと想えと云ふ

廿日

藤原製

所、屋上人行の、
飛の部、
須野史、
と標起、
松の、
料、

六日

明、
無、

引退して二件ありては、採汲可、村山請願取付
同書既出選解ありて、定う附金十日改に托
し、そ、板井ありて、午、午後、翌日、舟
二間、雪中、茶、つ、の、退附を、五、の、取、集
飯の、睦、合、の、臨、あ、僅、ま、余、日、定、日、本、森、三、人
合、ま、他、文、社、の、ま、春、何、何、花、の、出、版、局、の、印、印
を、需、の、ま、の、并、二、期、一、二、部、別、行、の、検、印
を、做、し、来、日、新、は、飯、本、平、も、も、新、境、産
別、来

七日

晴、朝、来、於、江、と、事、す、ま、成、用、紙、出、版、局、の、印、印
す、日、者、午、部、の、印、税、検、印、と、言、ふ、余、の、投、付、を
ぬ、め、る、日、本、回、方、飯、場、合、施、給、と、揚、州、余、の、所、得
局、の、ま、早、大、合、計、方、も、来、書、紙、後、旅、中、の、研、判
来、午、後、飯、本、丸、の、几、物、を、贈、り、以、行、の、飯、本
は、別、場、中、ホ、レ、ラ、ン、協、を、清、み、夜、に、入、り

八日

朝、来、雪、午、ら、く、降、り、積、り、ぬ、る、日、本、回、方、飯、場

今於此、余、造筆の終と考す、十おころの
書、且つ終ぬと考す。

九日

市、相末、旅、酒と考す、権山、閑の、是、三、旁、公、物
海、差、一、余、の、酒、三、閑、も、又、を、ぬ、め、ん、こ、を、初、め、二
月、廿、三、の、二、時、大、浪、合、波、の、矢、吹、若、部、の、法、
話、今、の、通、知、到、り、村、山、秋、浦、他、又、此、の、部、と、考、す
日、所、以、今、任、陰、令、地、を、成、終、志、別、入、本、年、紀、由
年、一、計、四、分、

榎原製

十日

午、前、四、時、所、又、上、の、暴、風、一、回、月、の、一、つ、物、ま、い、五、六、回
正、午、に、終、に、十、回、の、ま、ま、ん、無、二、三、回、し、腹、痛、せ、る、
お、血、を、ま、り、急、性、の、大、腸、を、い、ち、し、等、故、上、に
危、な、き、り、注、射、を、施、す、午、後、に、過、止、す、酒、を、完
く、ま、き、り、酒、を、飲、む、終、日、絶、食、惟、以、喫、同、菓子、一、二、粒、
のみ、多、く、矢、吹、若、部、の、酒、を、飲、む、酒、を、飲、む、後、
未、也、今、迄、出、田、部、に、後、半、を、今、入、り、多、く、山、の、上、者
株、に、お、き、穴、を、穿、れ、り、の、さ、き、物、長、干、一、粒、一、粒、
の、り、や、あ、り、此、日、桂、湖、村、に、入、り、湯、を、湯、

十一日

化元印

小雨今朝病もなると起床の力も亦今更回復
せり湯と紅茶と朝の酒と日本酒を飲め
〜二十九日復病の道陸歩正午の合氣
馬と炭を在橋を今や三州赤松也
の焼肴を焼く春の下婢飯後
本診十時〜十二時後山秋浦
終日葺中〜

十二日

藤原製

晴快方多入り高葺中より漸ゆるるる
つき朝ハ二午、飲の酒甚苦利身を今更
丹吳より雪中月の葉雪をとり来り木物展
望し後夜浸葦の板正摺一未利は
長一歩〜物と路り来り、白の物物の趣
を二需あり来り探偵小河を後み無聊を
放送局〜二月二日横浜の湯屋四十四
池平平〜眼復し酒を同す

十三日

晴

昨今朝病床を拂ふ朝未飯後即志の序
 を書き直しては老翁の事ありて書きたる
 物居の記も余の追憶中の振心抄刊
 未、権山図の古抄亦夫歴史公論の余
 の好井九馬三博士の記の訳法をせしむ
 即ち直する所は法華抄をしむ、宇尾
 而海を難の味神海を客の月之相馬御
 爪をもまよ層生問をも流川の池巻、凡人浄土
 未、加傳の選る件にのこるにあまふ社不係三
 印、子橋、丹三宇尾、三筒、紅葉

藤原製

彼のとのめりる京都のすぐき一掃を送り来り
 午後七時筆の校合の時を費す、晚間海草典
 一傳に備ふるにのこる、森森素の休言、市十午
 来、河、山、通、(三)

十四日

昨、高、島、昌、三、の、日、色、休、息、に、中、絶、文、記、に、技、師、
 十時出遊、相、伝、に、物、を、録、り、亦、時、に、金、石、を、
 三、浦、末、三、浦、の、去、月、出、名、の、折、り、の、通、達、と、
 墨、八、點、五、即、に、通、達、の、銅、牌、(大、公、道、抄)

白雲(也)と題する。句集後、好歌と筆す。子
祝の句集を讀む。

十五日

晴、朝未始解と筆す。春城詞法十冊、健文
社より、未だ改訂就吉と未出、午後淺谷館
望に、教業一七、悦ふ。

十六日

日

晴、朝未始解を筆す。教業、浅谷の三福と筆す。

藤原製

村山秋浦を、山陽海防の字、三列集、都人の選
奉、運動漸や、塵入る、七、谷万と、立侍志志き
り、来る。

十七日

晴、きの余の七十七回、誕辰と、南の、此日春城、今
を、筆す。南の、うの、是、是、考、日、前、に、在、る、と、以
へ、七、去、序、局、の、差、友、と、修、想、し、今、切、を、来、月
十七日、に、美、す。朝未始解と筆す。中山、近、直
ら、し、来、出、十、時、句、子、を、筆、す。下、谷、館、望

日本橋のデパートに入る異時を購ひ杉屋の店
老に似しと物くさ、雜紙を著す。

十八日

時朝来船名を著す、予の投札をぬめりる政
況往來利来、高橋太平洋、と未書、熱海の
聚楽、江築、紅念、海列、を發行すへき、行西也
迄遠、墨二十一點、検出、中山忠直、二投商、中
山忠直、如洋の、高陽湖、飲、回答と、發行、日、所
生命、依、淡、と、一、割、の、能、も、(七十八日)利来、坂

横原製

口献主、藤田、如、之、(聚楽社員)十五、張、検出、の、方
迄遠、墨二十一點、發行、午後、散策、

十九日

時朝来船名を著す、石塚、島、丁、所、物、を、検、出、の、方
去、久、相、馬、諸、島、の、島、著、す、と、著、す、腸、胃、に、由
か、の、不、潔、と、一、日、加、大、也、

二十日

時朝来船名を著す、解教後の南西墨、奉高

日也、朝来、雑所を養ふ、坂口献吉、来也、日
本誌の協定、高田直之、山口、山田、北、今、四
中、原、子、法、午、時、技、術、所、に、到、り、原、重、重、技
術、以、右、三、福、に、到、り、飯、下、瑞、彦、新、田、喜、司、よ
り、挨拶、状、列、口、(原、高、原、美、忠、山、田、村、時、貞) 午
後、七、時、所、を、養、ふ、吉、清、出、張、の、矢、吹、舟、三、と、春
也、相、馬、馬、瓜、の、池、養、い、を、獲、む

二十一日

朝来、雑所を養ふ、一二、朝志を養ふ、夫、加、崎

湯次、も、野、利、辞、館、と、名、で、あ、る、森、田、常、一、の、
春、城、開、港、と、名、で、太、田、為、三、郎、の、卦、列、の、
鹿、兒、島、片、山、招、城、も、其、出、且、通、鋒、の、文、徳、を、文、り
来、り、モ、一、バ、カ、シ、の、短、尾、山、院、を、獲、む、中、山、忠、直、よ
り、加、洋、の、横、巻、七、ご、の、今、桐、大、政、に、演、説、あ、る、と
い、ふ、野、山、出、づ、の、午、後、文、り、巻、を、取、め、不、在、す、
劫、原、ハ、ウ、イ、高、原、高、原、高、原、高、原、高、原、高、原、高、原、
り、水、井、郡、法、高、直、也、●電、報、列、の、選、送、卷、の、大、政
政、友、に、判、定、す、●社、説、大、道、出、録、本、政、友、伝、説
海、道、と、都、府

二十二日

昨朝未難解と書す。平湯一仁(多々)の世
展観日よの出法を治ふあり未の蛇左ハウ上原
杏所の西を折ぐ鑑定を治ひ来り、早大出の部
双輝(多々)と書す。百島三捕煙漫筆の校
習を折ぐ来り不ゆの交を自身校正す且つ標
を書す、午後散策(多々)と書す。折ぐ
百島三(春城園)と書す。

二十三日

日

四時(多々)と書す。今朝湯地(多々)朝未難解と

藤原製

筆(多々)送(多々)開(多々)案(多々)未(多々)了(多々)也(多々)氏(多々)以(多々)定(多々)
才(多々)一(多々)堂(多々)於(多々)心(多々)乎(多々)雪(多々)正(多々)年(多々)と(多々)三(多々)寸(多々)行(多々)降(多々)り(多々)八(多々)七(多々)
午(多々)後(多々)古(多々)雪(多々)有(多々)ん(多々)乎(多々)か(多々)と(多々)掛(多々)ん(多々)と(多々)モ(多々)ハ(多々)サ(多々)ン(多々)の(多々)程(多々)有(多々)ら(多々)か
説(多々)を(多々)依(多々)り(多々)大(多々)田(多々)為(多々)三(多々)り(多々)の(多々)弁(多々)儀(多々)の(多々)谷(多々)中(多々)と
報(多々)し(多々)未(多々)の(多々)衣(多々)見(多々)島(多々)片(多々)山(多々)村(多々)城(多々)と(多々)海(多々)色(多々)も(多々)も(多々)也(多々)
旭(多々)入(多々)る(多々)も(多々)堆(多々)雪(多々)尺(多々)餘(多々)と(多々)有(多々)り(多々)前(多々)の(多々)雪(多々)に(多々)比(多々)べ(多々)ん(多々)が
寸(多々)餘(多々)多(多々)し(多々)呼(多々)び(多々)軟(多々)地(多々)交(多々)通(多々)為(多々)り(多々)無(多々)ら(多々)ず(多々)

二十四日

今朝未難解と書す。モ。ハサンの程(多々)山(多々)説(多々)と

讀云、午後元吉方、校ける太田為三郎の朱の
式二跡云、村崎政雄を海に列、高田の
原玉堂を七海に列す、

二十五日

此、初来双雅之方の讀書感興、字のすまき
池巻も巻す、龜山書、こは山陽の書、の待
稿を交付、前島男爵の家、こは現代編一由
忌の紀念物を終、来、中山居方の島内後
三才湯、や野樺全集の序文も折、小

標原敷

野島自筆、四家流拾載上の死者、書、の郷
の指入、ある一書、を中山居社書、に、今も保、
せ、あ、終り、預金、三百五、百、引、出、し、
三、福、に、似、す、二、三、難、に、
息、に、池、巻、一、冊、を、寄、り、書、物、展、望、し、
未、だ、加、友、と、今、花、色、と、果、物、を、
後、胃、痛、と、
と、得、ず、

二才と書

今相承做字宛に、あつてあつて相承を痛くし、
中、あつてあつて方面も、電流も、水令のくも、
お、お、三時、横濱、鏡と、以、名、首、お、ち、橋、
波、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
令、志、お、ん、み、川、内、休、場、お、ち、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
う、じ、才、は、頼、道、の、自、の、う、有、を、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
方、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
相、と、得、七、段、布、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
止、二、三、大、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
井、郡、江、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、

標原製

カ、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
ニ、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
夏、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
ク、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
尚、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
奇、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、
セ、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、

二十七

時、（時、作、ま、い、真、師、教、信、等、と、暗、殺、し、刑、死、

二月廿六日午後八時十五分陸中省長表入指
九本日の午前五時ころ一車が午時校尋ハ左記
箇所を轢き死す。首打官邸に向首打即死
①方角四方に和印内方に即死 ②通を教育院
監新印信監即死 ③物中前大日宿舎(湯河原
伊豆尾物即)物中前青木の ④鈴木侍従者
印侍従長中傷 ⑤高橋大花右に和印大花
大に負傷 ⑥高橋大花右に和印大花
と尋常年將校尋の蹶起せる目的の者によ
九本の言大花より係元長重道 秋洞甲洞

標原製

宣傳政令等の團體破壊の元兇を以て
大義を以て團體を擁護開闢せんといふ事
此の戦時教育の人心を安んずるに後なる内政
内閣の臨時代理を仰付けたる。
朝来同方校舎の校舎と尋常の客船の校舎
指と校舎の補足の物を添くこととす。又方お成
印社として恐るるの物に指し来二万頁の内
百頁を校舎にして半日を費す。石塚三の
り昨日の出来事。の二二一と偽め。方お成
表し来た。岩形即。辰田新井山口平の

今余の揮毫を求めし其の父劉君の家の由
知有り出た後流石井幸四郎^{後部}来り此女
を山湯方面の鑑宅と稱ふ歴也也
石塚の法に授けし種中の乱徒の首を先が
棄視殿を占領しとる其疾也其擧為おる傷
とあるも秋畠の後初の為りたる一時後統の事
實の死しゆ也と一木長徳の首を命をん^對又
の科職にきし^ゆけんが女^儘きしと入くま
を志す

高田早苗に問す、本森田菟一助も未書

標原製

二十八日

晴朝も雪あり、権燈後藤の校正の時
をありし、枝山湯の上書狀とせし、方角昌三
、方角大江山の成へ、方角昌三より未書
今朝の早苗が栲蓐の死をいふ、都立我下
日、在んま、新澄さう、氣流の占る、弊祝殿、^今都長
甲府高崎く呼ひあそむる、冬迄に包圍せん、あり
七未以武惣を解除し湯を預子也、数々祝殿ハ神
田日若士合意し、夕リ成り、由、[●]祝殿日合未書
八九日、軍人合意し、[●]領前土壘を築き

一と述べたこと、その中央は、徳川も自衛年
の事、行不徳の事、武の云々、西園寺に
の敬を戒する事、午時雨を冒して、公の氣
を、飯す、六次の内を、く、電流に、授け、公
の暴卒の途中には、老を、千ある、名も、死を、撃すの
大官定、い、ある、異の、徳の、古、飲す、と、ま、又、一報
と云く、取、勅、煥、を、逆、徳、を、撃、つ、入、し、し、の、命
に、今、死、或、の、市、街、戦、起、こ、ぶ、し、と、永、回、可、い、と、い、ふ、
主、ぬ、き、と、行、つ、新、海、吉、を、七、故、徳、ま、ま、し、し、と、任、後
と、つ、と、の、つ、あ、う、と、天、云、く、今、次、の、暴、卒、の、死、者、に、あ、し、
標原製

と、徳、の、取、回、入、に、對、す、る、如、き、事、の、あ、う、亦、附、じ、の
家の、死、傷、も、少、く、な、ら、う、と、公、表、し、對、し、人、を、驚、か
す、事、の、あ、ら、う、と、又、利、不、徳、の、事、に、報、す、事、の、も
づ、く、は、亂、徳、の、事、を、占、領、し、と、な、ら、う、と、
之、ん、と、對、し、破、壞、の、政、務、も、成、ら、な、ら、う、の、事、に、從、下、
り、勅、使、差、を、せ、ん、退、去、と、云、來、せ、ら、う、と、い、ふ、事、
な、ら、う、と、あ、ら、う、前、に、徳、川、に、取、柄、を、し、め、ら、う、と、い、ふ、事、
ん、か、新、海、も、あ、ら、う、と、い、ふ、事、に、あ、ら、う、と、い、ふ、事、
さ、ら、う、と、い、ふ、事、に、あ、ら、う、と、い、ふ、事、に、あ、ら、う、と、い、ふ、事、
い、は、後、主、に、あ、ら、う、と、い、ふ、事、に、あ、ら、う、と、い、ふ、事、に、あ、ら、う、と、い、ふ、事、

かえりて後攻らんまゝ今わらふ
前島勘一守に海志を尋らす、石塚に守るも海
成治碑の字より判未

二十九日

頃今朝の辰子使の示田所所也一部に乱徒散ちるる
の新隊より窪下の軍の大命を奉りしを行動してあ
りと、此處に就て司令部発表の報を掲ぐ、今
朝の午にオは乱徒勅命を奉せしを以て金
成つ方の公示あり、但し就聞、示田所所限に

榎原製

書せんと云く、いかに此の外四の大使彼より精愛
をし難くと思ふ、八時半頃のラジオは更に
香椎長官の乱徒に對する失論を傳へ、既に勅
命より四位に降せよと命せしむ、又高野行きの
ノを捨てて抵抗を為すに、勅命は皆く、こゝ
まゝ、今も松と改むるも魁として、改まるる松
ハ罪も許さへし、御尋の後帰りの御尋の父母
の別所亦、順民の欲する所也云々、又九時、司令
部司令部長、表砲聲のやみくる静かに家におり
戸外に出むぬ、おのこを注意あり、十時、以朝

日の部に出で前線のことを詳報す。秋田附
 止井、須田連の交通機関休止。富山方面
 へ投行派全松山外来、終日ラジオを聴
 く。又、ある所を獲受江三のあつ寝家、移
 才十一時ラジオは司令部の報を傳へ、司令部
 の亂投に對し、教使を派し、説得諭書と頒布し
 つ、あり、飛行機の頒布も継続中とあり、主退き
 たり、宅の財産に對し、私し、憲兵と警察の保護に任
 せらる、未だ兵火を交へ、おとす云、十一時
 三十分のラジオは、司令部、若表山、折報を

榛原製

傳ふ首報、友部、山王木、元又、反、亂、軍
 の外、下士、及、以下、情、吹、し、を、以、つ、て、追、々、鎮
 定、を、む、こ、へ、し、を、引、つ、き、情、を、お、さ、し、は、追、々、是
 り、た、つ、を、以、つ、て、通、行、も、解、除、さ、さ、し、被、難、志
 の、復、帰、も、止、ら、ま、あ、ら、ま、り、無、断、的、に
 を、許、さ、ま、り、

午後十二時、半、鐵、道、の、交、通、も、解、除、さ、し、電、報、自、動、
 通、信、も、解、除、さ、し、四、内、の、電、信、局、の、禁、り、解、除、さ、
 ん、

校、友、古、殿、基、の、秋、の、振、り、書、物、展、望、社

とる余の逸筆、抗が漫筆、意を版、白
器後款を需め、うじ才をよきる
うじ二百枚許、自書、時を移す、
三時、い大は回、叛乱軍、午後二時、以全、物
順をうり、爰に鎮定を具、司令部の報を
表す、或うじ人の報、控、叛徒の主、
十九名の首相印、控、割腹し、
後うじ才を所、意外の報、得、
西撃、身代、今次の保、
香田、大府、十四名、本官を免、

藤原製

内閣の命令を云々

三月

一日

時、朝来、旅、校友、殿、其、
帛書、小林、三、海府、
春、閑、所、
山、
就、未、出、午後、日本、
物、函、を、
取、来、貝、
夕、
鐘、

一 秩と梅の干後、菲お、ち梅の梅大重作
二 叙とん雨花大段、字を換けん、与方書
三 名あり、百お、即号、敬七、の、巡、五、五、名、初、開
号、者、表、さ、り

二日

今朝亦、雨あり、朝来、旅、旅、と、書、ま、真、の、柱
次、即、と、見、お、此、来、つ、十、一、時、お、出、日、本、筋
二、老、の、海、面、お、日、用、命、を、獲、つ、七、高、吟、局
公、中、二、頃、ま、前、吟、家、の、香、と、題、ま、加、藤、清

藤原製

二 卯、と、集、書、午、後、七、開、と、つ、七、難、お、と、書、ま、
三 方、お、三、と、も、と、速、達、使、ま、と、一、高、と、投、ま、西
四 園、寺、公、出、來

三日

昨夜、口、献、ま、来、り、市、麦、ろ、ろ、き、新、少、は、く、遠、く、
報、道、の、筆、記、と、示、さ、り、往、々、又、私、せ、り、こ、と、あ、り
三 註、と、山、日、信、尾、来、り、日、在、回、者、婦、今、と、と、来、り
四 午、後、祭、お、と、兼、し、又、字、山、高、の、境、又、と、
五 六、心、様、全、集、の、序、文、と、筆、作、り、後、書、後

巻今在在在本午後散葉一二回也と辨少くは

四日

明朝来々四様全集の序を筆心一為に
と中山房の郵送、中山房百科編纂者不
し余の執筆に傍ら筆刻の抜正をせ
めし、尚易易三三と東山流を求むる
詳淡集補正心為らるるの如く、
内縁を流、中山房の科辞典家刻の項
を授合しと授書午後雜報を著し、
拙坑

稗原製

漫筆の扉より又と百部自製あり、
其の柱次
部、一、部、二、部、三、部、四、部、五、部、六、部、七、部、八、部、九、部、十、部、十一、部、十二、部、十三、部、十四、部、十五、部、十六、部、十七、部、十八、部、十九、部、二十、部、二十一、部、二十二、部、二十三、部、二十四、部、二十五、部、二十六、部、二十七、部、二十八、部、二十九、部、三十、部、三十一、部、三十二、部、三十三、部、三十四、部、三十五、部、三十六、部、三十七、部、三十八、部、三十九、部、四十、部、四十一、部、四十二、部、四十三、部、四十四、部、四十五、部、四十六、部、四十七、部、四十八、部、四十九、部、五十、部、五十一、部、五十二、部、五十三、部、五十四、部、五十五、部、五十六、部、五十七、部、五十八、部、五十九、部、六十、部、六十一、部、六十二、部、六十三、部、六十四、部、六十五、部、六十六、部、六十七、部、六十八、部、六十九、部、七十、部、七十一、部、七十二、部、七十三、部、七十四、部、七十五、部、七十六、部、七十七、部、七十八、部、七十九、部、八十、部、八十一、部、八十二、部、八十三、部、八十四、部、八十五、部、八十六、部、八十七、部、八十八、部、八十九、部、九十、部、九十一、部、九十二、部、九十三、部、九十四、部、九十五、部、九十六、部、九十七、部、九十八、部、九十九、部、百部、大命下り

廿日

明朝来々四様全集の序を筆心一為に
と中山房の郵送、中山房百科編纂者不
し余の執筆に傍ら筆刻の抜正をせ
めし、尚易易三三と東山流を求むる
詳淡集補正心為らるるの如く、
内縁を流、中山房の科辞典家刻の項
を授合しと授書午後雜報を著し、
拙坑

鈴木伊十と自伝のハシニアレト云々有る。市川仁一
 印山形喜三等も来書、松倉基清も来書
 金百石の自伝金引出。故来書あり。七
 赤、白、黒の三。前未大、向、中、遣子太
 森田、西園寺公虎の前外、おも首相、奏書
 成田の真、細閑、着于、陽淺宮、相由府
 有、杉平、恒隆(莫大使)宮ねと云々

六日

時朝来、龍谷寺、山、口、中、一、投、筒、中

山下坂本と龍谷寺と、龍谷寺の山、口、中、一、投、筒、中
 功種村宗八の近侍合一の三、三の三云々、
 又、東武の沈、係、年、中、一、十、丹、能、者、段、口、献、立
 才、武、乃、春、城、會、廿、一、日、仁、業、領、こ、の、事、こ、と、を、報
 ず、五、時、仁、業、領、こ、の、事、今、の、時、も、廣、田、但、閑、途
 上、俄、然、難、関、の、振、着、軍、部、似、関、の、旗、振、の、善、方
 針、不、滿、了、寺、内、大、將、入、関、任、任、外、の、難、外
 出、の、内、関、流、産、の、激、し、く、あ、る、関、太、印
 今、も、来、信、伊、丹、留、馬、の、込、海、聚、集、し、御、地
 碑、の、拓、本、寫、す、る、を、賜、さ、る、也

七日

昨、高直昌三日、速達郵便が来た。雑誌と兼
す、柏崎西書房、味海五冊目注文の返が来た。
今村陸軍少佐、米山、吉村、長谷川、多田、印と七人の
未だ数日、日本橋に物を贈る甚兵衛と申し
て、午後三時、高直昌三冊、附加税票、川の内、流
産するところ、とラ、バ、才、情報、を、偽、る

八日

日

昨、石塚、中、然、入、正、一、お、人、を、保、め、る、方、面、の、機
定、を、保、め、る、米、山、の、寄、り、物、は、西、橋、士、の、業、績、を

標原製

叔母、石、塚、の、名、の、雑誌、教育、に、掲載、する、物、太
平、の、米、山、の、佐、藤、良、一、中、の、米、山、の、午後、三、時、雪、小
の、雑誌、と、兼、す、今、村、陸、軍、少、佐、の、投稿、

九日

今朝、雨、雪、交、に、利、夫、相、米、雑誌、を、兼、す、今
田、重、康、の、題、名、を、命、じ、且、つ、標、記、と、由
来、と、記、す、雑誌、美、佐、古、才、一、冊、と、持、来、す、
田、村、壯、三、の、英、文、雑誌、大、日本、北、海、道、の、
と、余、の、寄、り、物、を、持、来、す、午、時、新、着、の、中、村、陸、軍、に、ラ、

スカレーを合せ、午後廣田内閣漸く成立の勢
外出の揮毫十数紙、友人の需に應ず、古札展望
社も隨筆、序目録の校正、櫻川未

十日

時、新書田の富島流古書、徳書集の巻
又目録を授け、新書田の流書、社来陽
一仁流別、流書、の件、つぎ、日、出、陳、品、の、目、録
と、文、献、山、口、^年、計、き、未、出、午、後、二、宮、書、明、電
長、次、吉、田、付、可、流、う、つ、き、家、物、の、印、を、出

標原製

し、示し、煩、く、時、を、養、ふ、早、河、岡、流、二、寺、く、流、る
相、以、西、巻、く、味、嚼、五、冊、目、利、達、

十一日

時、文、を、付、入、の、教、来、未、午、任、の、物、を、購、以、日、本、指
、四、つ、骨、董、二、石、の、物、を、得、七、廣、山、紙、以、日、本、書、
、飯、も、外、出、中、古、物、方、洋、丁、来、品、也、水、木、京、太
、若、川、狭、久、男、揮、筆、典、一、寺、本、在、中、丁、来、品、也、九、馬
、御、八、臨、筆、未、二、冊、雜、書、の、如、く、配、本、廣、業
、お、妻、道、道、の、書、簡、七、巻、理、す、表、白、を、ん、は、
、漢、字、子、と、ま、と、ん、と、撫、入、流、流、の、流、字、と、流、を、

刻る也。

十二日

昨余が地蔵寺をぬりて同寺地蔵徳利に丸
美の丸木京太とて昔懐記念号に寄るを
求りしもの、高松沈古才長と余の丸木と印と
を合ハセ二名高松順と名入ると頼旋、尺取
若干と目録を交付、高橋太洋、自画の大
隈屋有徳と高らし来りて、今村隆
余の地蔵寺、秋山陽の首飾挿入のカット

藤原製

きのき来、流、雅細と兼、午後市多、次
去、再訪、同寺地蔵徳利に寄るを、地蔵寺。
余好と化、完成と云々。

十三日

昨、朝来、同寺地蔵徳利、寄るを、地蔵寺の
属、丸木京太とて昔懐記念の余の雅細印并
鋳、あり、移し、去、四徳、士、終焉、碑、(碑、入、余の地蔵寺)
の字、上、を、好、く、岩、波、急、な、り、好、い、金、十
九、の、丸、木、京、太、水、多、改、ま、り、方、向、上、十

所、小波岸、朝来雑紙と著す、供々あり、以而
：物を箱心中打取、紙を切く、取に献言とて其
玉、改版、造事、秋山陽の序と心に、村山巻一
山、四、心、と未也

十九日

所、凡、朝来雑紙と著す、山、四、心、と未也、
中、紙、と未也、推、燈、漫、著、和、本、成、り、書、物、辰、記、社
と七冊送、と未也、造、事、秋、山、陽、の、改、版、序、と、序、考
書、今、打、方、ノ、部、也、午、夜、教、養、井、口、基、成、統、緒、に、付

藤原製

十山の切手と贈之、有、為、男、に、以、前、也、教、乱、中、
加、の、兵、士、千、三、百、餘、人、留、置、と、罷、入、る

二十日

所、朝来雑紙、其、の、後、紀、年、雜、紙、と、寄、す、人、も、稀、也、
此、も、森、脇、美、松、好、口、献、言、也、其、の、宗、家、の、細、長、
其、功、也、此、刊、の、推、燈、漫、著、と、贈、す、山、陽、方、也、
其、の、柱、全、集、の、序、の、校、全、摺、と、寄、す、其、の、真、一、
此、典、二、と、未、書、也、其、有、を、寄、燈、記、者、也、木、末、太、
：寄、す、と、山、陽、好、口、全、集、の、目、録、出、す、早、稿

田大子も辛甚く并行渡り今方迄到来今更
ハ一々金子入方物到来十数年無償
夜金の往任を差し与謝礼としてある由
り未だ取らぬと未決せり又敷く欲
り置くと長思所行ハ生の名義の借金三萬圓
の内四年中老翁の借印其後あるを今
も昔方止る由抄函とて五ヶ月現款ありと
日森脇美村より報せり市に債印の書任を
き残款ありと余の義とすたの加
ニニ記しおく

榎原製

二十一日

春香の白雲堂

而今休ハ一々簡す、四月ハ、雅致因、於けり十款
今也到り、松井郡法来功、午後四時、折、
全前、因、内子、其、房、井、重、次、紙、海、酒
一、指、と、賜、午後四時、以、多、能、折、く、春、秋
合、運、功、の、家、今、日、辨、合、才、今、二十、一、春、予、の、地、草、
と、押、喜、を、今、更、に、領、つ、

二十一日

日

時、今朝、如、時、十、合、更、熱、向、白、あ、日、り、春、秋

城守の内に北の原宿 彦井里の坂口村山小井
 大江浦外ニ成島柳地記族成島登一二人
 也。此海者後直ちニ城守の家を以て未亡人
 令一後道(道)の巻を以て時記ニ十二
 をこく 聚楽ニ入り一日柳地ノ碑前ニ集
 リ柳を献す、一日此道ヲ撮影、聚楽
 の一宮ノ開きあり柳地(道)の巻の巻長
 を観る、道(道)の巻ニ家為のよあ七八
 分七占也、二時以て聚楽ノ地ニ入る酒
 令一五時の流立、一も物意、夜未也

藤原製

二十三日

柳地(道)を巻く、休屋芳里(道)未書、柳地(道)
 新多社(湯)一仁又陣到り為り家為品上
 正貨(道)新多、柳地(道)中村店、致七物
 日、柳地(道)特醬油産く味増代、田田(道)未書
 善、二月廿六日、致乱言、伴の言相解禁、
 き、柳地(道)の柳地(道)出づ、(道)他日の為め死
 要の柳地(道)と知りぬき、伴(道)村山通吉海
 留居(道)の家物租の挨拶、致到也

二十四日

朝未始解と書す、石塚松頼大木操の事、
未始十一時出遊、是善念を、解、物と始、
此、富原高三の、押音、西松、野、早大
幹、中村、若、唯、の、計、到、大木、高、た、ら、未、書、

書

二十五日

朝未讀書、真、終、典、二、七、男、を、付、之、未、の、早
稻、四、十、子、必、無、合、(四、三、十、七、國)、松、待、然、山、湯
新、報、一、未、出、午、夜、教、現、策、九、七、の、古、玩、を

榎原製

徳、之、由、を、回、考、終、然、神、之、言、以、地、事、の、校、正
柵、川、在、遊、寂、寂、耶、お、路、事、集、を、談、お、

二十六日

朝、未、始、回、考、終、然、神、之、言、以、地、事、の、校、正
一、是、の、由、河、西、を、加、く、て、是、を、遊、終、然、を、書、す、
東京、の、一、は、多、く、記、事、黒、崎、分、院、宗、廟、紀、念、堂、に
寄、る、所、を、所、に、深、く、一、遊、す、領、係、者、次、郎、経
二、未、始、日、古、也、富、原、三、松、中、村、若、唯、の、生
あ、成、臨、み、者、莫、十、日、差、出、す、山、毛、後、車、京

訃刊の弔状と参り中山正史と参り丹兵衛
平末功、新時親族の後別と、播磨湯原一丹好
、亦参り参り、未言、氏の家、山内郷、大、南
相後にとり、三、相、参、用、相、の、業、平、史、次、と、後
也。

二十九日

日

昨、多、参、り、沙、子、の、二、十、五、歳、と、迎、へ、今、朝、の、候、上、余
の、寄、付、也、懐、紙、と、掃、く、亦、参、り、と、に、い、間、有、此、候
未、片、親、病、を、元、元、制、未、参、り、と、度、一、先、と、は、先
日本橋、参、り、下、已、渡、参、り、之、三、散、末、一、午後、ゆ、書、新、馬

榎原製

昔、坂口、殿、去、り、と、来、り、午後、参、り、参、り、又、三

二、此、候、同、文、付

三十日

所、以、朝、来、難、紙、を、参、り、亦、参、り、不、し、と、紙
是、比、其、書、付、注、是、生、以、内、の、遠、き、婦、人、と、後
也、丹、兵、衛、平、末、功、と、物、と、寄、付、也、三、三、紙、付、也
振、手、午後、参、り

三十一日

町早大とて河津大進屋の長男と報し未だ
丸山本系とて余の地守守り左義長一命を
随軍入彦彦を二拝好しとて治事し未だ、高
橋本洋一を係し中々とて未だ、午後於此を
す。

四月次後別巻あり

榛原製

